



12月1日(火) カルチャープラザ「Eki」
2日(水) 角田農村環境改善センター
3日(木) 南部公民館

あすの栗山を語る

まちづくり懇談会

椿原町長と栗山の未来を語る「まちづくり懇談会」が12月1～3日の日程で開催されました。懇談内容の一部を抜粋し、お知らせいたします。

栗山のクリ加工

問 去年販売した渋皮煮を、町内の若い人の発想や行動力を活用して、栗山で作ることではないのか。

答 渋皮煮の販売は今年も行う予定。加工は岐阜の恵那川上屋との関係も保ちつつ、町内業者での加工も予定している。収量が安定しないため、限定的な使い方ができていないが、今後に期待していただきたい。

若者の定住意向

問 若者定住に関するアンケートの結果を新聞で見たと栗山に住みたい」と答えた人があまり多くなかった。もっと栗山に住みたいと思えるまちづくりが必要ではないか。

答 「一度離れてもまた戻りたい」との回答もあり、町を愛する若い世代は確実に増えている。これまでのふるさと教育の成果だと考える。今後はまちの魅力を掘り起こし、町内外に発信していきたい。

日出地区の振興策

問 日出地区は町内でも過疎、高齢化が進行している。新規就農者が一人入ったが、年々空き家が増えている。何か振興策はないか。

答 今年4月から、日出には新規就農者が入り、明るい話題となっていると思う。現在、新規就農者やさまざまな企業が農家の土地を求めて町に訪れており、日出地区も候補地として見学してもらっている。振興策として、話がまとまっていくよう、支援していきたい。

リサイクルごみ

問 以前広報紙で、プラスチックなど、リサイクル回収したごみがいくら収入になったのか紹介されていた。回収したごみで収入に繋がったものがどのくらいあるのか、教えてほしい。

答 再資源化により収入になったものはプラスチック以外にも多い。今後、広報紙を通じてお知らせしていく。(今月号11ページに掲載)

職員の採用

問 最近5年の採用状況は。栗山高校の生徒の積極的な採用を検討しては。

答 財政状況が厳しい中、全体の職員数を減らしてきた。ここ数年は年一人程度、採用している。しかし、枠が少ないため、社会人経験者などの採用が続いている。昔のように毎年多くの採用があれば、栗山高校の生徒も採用できるが、現状難しい。将来的な高卒枠の確保を目指していきたい。

マイナンバー

問 マイナンバーの個人番号カードは取得の必要性があるのか。常時携帯するのも面倒だ。

答 通知カードだけでは、他の証明書も必要になる。個人番号カードを取得すると1枚で済むようになる。カードを常時携帯するわけではなく、必要ときに持参すればよい。これから利便性が高まり、年々普及されていく。

駅前近郊の整備

問 篠原木材跡に大きな広場ができた。今後の活用方法は。基本となる道路整備を行い、駐車場として活用したい。線路側は多目的広場としても利用できるのではないか。将来的な構想も見据え、商店街、市街地形成と連動させていきたい。

答 基本となる道路整備を行う。線路側は多目的広場としても利用できるのではないかと考えている。将来的な構想も見据え、商店街、市街地形成と連動させていきたい。

角田の跨線橋撤去

問 跨線橋撤去後、余った土地の活用はどうなるのか。

答 跨線橋部分は5メートルほど低くなる。それに伴って、のり面の用地が余る。この土地が地元へ譲渡か売却になるには数年かかる。しばらくは空き地となるが、草刈りなどの維持管理を行っていく。

※町ホームページ「行政・まちづくり」↓「協働のまちづくり」に全議事録を掲載しています。
【問い合わせ】
町総務課広報・防災・情報グループ
☎7501

後期高齢者医療制度

高額介護合算療養費と医療費通知について

北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ 011-290-5601
 町住民生活課住民・国保グループ ☎ 73-7508 (直通)



高額介護合算療養費とは、医療と介護の両方を利用して世帯の自己負担を軽減する制度です。合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。なお、手続きには市町村窓口への申請が必要となります。

※後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合、対象となりません。

※支給額が5000円以下の場合には支給されません。

高額介護合算療養費について

※住民税非課税世帯の区分について

◇区分Ⅰ
世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円(公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下)の方

◇区分Ⅱ
世帯全員が住民税非課税である方

◆申請される方は、町住民生活課住民・国保グループ(②番窓口)までお申し出ください。

○自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区分	自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者	67万円
1割	一般	56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※) 31万円
		区分Ⅰ(※) 19万円

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにとまとめた医療費通知を送付しています。

次回の発行は平成28年3月末(平成27年7月~12月診療分)に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡を新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または町住民生活課住民・国保グループへご連絡ください(電話でのご連絡だけで手続きできません)。

◆すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方には、継続して発行します。再度のご連絡は必要ありません。

◆この通知を受け取られたことにより、申請などの手続きをされる必要はありません。

◆この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

お電話だけで手続き完了!

医療費通知の送付を希望される方へ



■あなたの声をしっかりキャッチ!
 1枚のハガキが明日のくりやまを変える!



くりやま
 キャッチボイス



【問い合わせ】 町総務課 広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501

要望 飼い猫の避妊手術代を算化してほしい

野良猫を増やさないために、猫の避妊手術代の算化をお願いします。命は人間も猫も同じです。個人で手術は大変ですので、よろしくお願いします。(70代女性)



大切な命。飼い主は最後まで責任を持ちましょう。

回答 飼い主の責任で行うべき

飼い猫などへの責務は、飼い主が負うことが基本です。町では今のところ、猫などへの去勢・避妊手術の助成を行う考えはありません。

また、野良猫についての苦情も多く寄せられています。捨て猫への安易な餌やりによって地域に住み着いてしまい、繁殖するケースも少なくありません。安易な気持ちではなく、最後まで命ある、家族の一員として迎え、周りにも迷惑をかけないよう飼育することが重要であると考えます。

質問 中央通りの左折標示不要では?

中央通りと南通りの交差点において、中央通り側の左折を示す道路標示は、中央通りを(由仁町方向に)直進しても道路交通法違反にはならないので不要ではありませんか?(50代男性)

対応 早急に塗りつぶし作業を実施

道路標示や標識など交通安全に関する工事を現在実施しており、ご意見のありました道路標示は、投書のとおり不要であることから、早急に塗りつぶします。貴重な意見をありがとうございます。



投書のあった交差点。回答後すぐに作業が実施され、現在矢印はありません。

皆さんからのご意見お待ちしております!

① 広報折り込みの専用ハガキで!

2カ月に一度広報に折り込まれる専用ハガキを切り取ってご利用ください。必要事項を記入してポストに投函してください。(切手不要)

② FAXで!

ハガキをそのまま、または好きな用紙に必要事項を記入して、『72-3179』に送信してください。

③ ホームページ専用フォームで!

下記アドレスから
<https://www.harj.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=SfQnm4ig>
 または町ホームページトップ画面の注目情報(画面右側)から専用フォームにアクセス



議会の動き

平成27年第9回栗山町議会定例会において、次の議案が審議されました。
(12月15日招集)

議案

- ▼平成27年度栗山町一般会計補正予算(第7号)
歳入歳出予算に9384万8千円を追加し、総額を86億5595万6千円とするもので、主な補正の内容は、ふるさと応援基金積立金などに係る補正です。
- ▼平成27年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算に266万円を追加し、総額を21億933万7千円とするもので、主な補正の内容は、一般被保険者療養費および出産育児一時金に係る補正です。
- ▼平成27年度栗山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

- 歳入歳出予算に50万9千円を追加し、総額を1億9494万9千円とするもので、主な補正の内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の額の確定に伴う補正です。
- ▼平成27年度栗山町水道事業会計補正予算(第1号)
- ▼平成27年度栗山町下水道事業会計補正予算(第2号)
以上2件は、財政融資資金に係る公営企業債のうち下水道事業の償還年限が延長されたことから、償還の方法をそれぞれ30年以内から40年以内に変更するものです。
- ▼栗山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例
マイナンバーの利用開始に伴い、情報共有による事務の効率化を目的とした「庁内連携」システム整備が必要なことから、番号法の規定により新たに制定するものです。
- ▼栗山町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
「地方税法施行規則等の一部を改正する省令」の施行により、関係部分の条例を改正するものです。
- ▼栗山町国民健康保険条例等の一部を改正する条例

- 「地方税法等の一部を改正する法律」の施行により、関係部分の条例を改正するものです。
- ▼栗山町介護保険条例の一部を改正する条例
マイナンバー制度の導入に伴い、介護保険料の減免および徴収猶予に係る規定を整備する必要があることから、関係部分の条例を改正するものです。
- ▼栗山町下水道条例の一部を改正する条例
歳入の確保を図るため、下水道使用料の他に自主財源として新たに手数料収入を設けることから、条例を改正するものです。
- ▼栗山公園および夕張川河畔広場・栗山町社会教育施設等・栗山町社会体育施設・栗山町栗山ダムパークゴルフコース・栗山町図書館・栗山町勤労者福祉センター・栗山町いきいき交流プラザに係る指定管理者の指定
以上7件の指定管理者を、次のとおり指定しました。指定期間は、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間です。
- ◇栗山公園および夕張川河畔広場
たかはしダリア(中央3丁目)
◇社会教育施設7施設
(株)東総業(錦3丁目)

- ◇社会体育施設12施設
株式会社スイテック(錦3丁目)
- ◇栗山ダムパークゴルフコース
クリーンセンター株式会社(中央3丁目)
- ◇図書館
特定非営利活動法人くりやま(中央3丁目)
- ◇勤労者福祉センター
栗山地区連合会(中央3丁目)
- ◇いきいき交流プラザ
社会福祉法人栗山町社会福祉協議会(朝日4丁目)
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任
固定資産評価審査委員会委員として磯見よし子氏(中央3丁目)が再任されました。

諮問

- ▼人権擁護委員の推せん
人権擁護委員として、井上善晴氏(松風3丁目)と諏訪英敏氏(中里)が同意されました。

意見書

- ▼TTP「合意」内容の徹底した情報公開と検証を求める意見書
▼介護報酬の再改定を求める意見書
以上2件は可決され、関係省庁に提出されます。

優良従業員表彰

栗山商工会議所主催の第55回優良従業員表彰式が11月27日、ホテルパラダイスヒルズで行われました。

表彰されたのは、同会議所会員の15事業所で5年以上から30年以上まで勤務した計38人。松原正和会長と花田正博副町長から表彰状と記念品が手渡されました。

松原会長は「これからも研さんを積み、会社の発展、社会の貢献に努めてください」と激励。

表彰者を代表して、小林酒造株

式会社の南修司さんが「この受賞を機に、より一層、企業の発展に尽くしていきます」とお礼のことばを述べました。

◆30年以上勤続表彰
南 修司さん(小林酒造株式会社)
橋元 治さん(伸和機軸株式会社)



全道シルバー展銀賞

第26回全道シルバー作品展で雨煙別の木村恵美子さん(写真中央)が銀賞にあたる北海道社会福祉協議会会長賞を受賞し11月27日、南條宏教育長へ報告に訪れました。

木村さんは、所属する和紙絵すみれサークルの会員らとともに出展。2カ月かけて仕上げた受賞作「白いベンチ」は、重ねた和紙で美しい色合いを表現し、「実に若々しい作品」との評を受けました。

報告にはサークルの講師を務める

前川澄子代表も同席。木村さんは「前川先生の指導のおかげで受賞できました。次はハサンベツの里山を作品にしてみたい」と次作への意欲を語り、南條教育長は「大変見事な作品。おめでとうございませう」と受賞を祝いました。

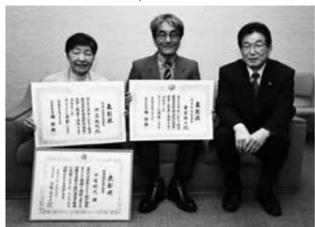


北海道社会貢献賞 経済産業大臣表彰

長きにわたり統計調査員として従事されている伊達桃代さん(松風4丁目)が北海道社会貢献賞(統計功労者)と経済産業大臣表彰を、早苗雄二さん(角田)が経済産業大臣表彰を受賞し、11月30日に椿原紀昭町長へ報告に訪れました。

椿原町長が「まちづくりには調査データが大変重要ですので、これからも健康に気をつけて頑張っていたら」と激励。

「数据统计」と「声かけ」と、伊達さんは「周りの皆さんや家族の協力でスムーズな調査をすることができました。今後も元気で人の役に立ちたいです」と話し、早苗さんは「役場職員の指導のおかげでこれまでできてきたと思っています。今後でもできる限り協力したいと思います」と意欲を語りました。



優良警察官表彰

栗山地区警察官友の会が12月7日、優良警察官を表彰しました。

表彰されたのは、栗山警察署交通課交通係長の松井聡裕警部補、刑事・生活安全課刑事第1係主任の飛内一樹巡查部長、交通課交通係の田口祐人巡查長の3人。

同署で行われた表彰式で、松原正和会長は「皆さんの活躍で安心・安全な生活を送ることができています」とたたえ、来賓の椿原紀昭町長も「地道な努力で、町を守ってくれ

ていることに感謝します」と述べました。

3人を代表し、松井警部補が「受賞におごることなく、より一層、地域の皆さんのために尽くしていきたい」と誓いました。

